

第 5 6 回

奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会

日 時：平成 2 8 年 8 月 3 日（水）

午後 6：00～

場 所：奈良市保健所・教育総合センター

3 階保健所大会議室

次 第

開 会

1. 議 事

（1）クリーンセンター建設計画の取り組みと現況について

- ① 現在の進捗状況について
- ② 各種団体等からの署名について
- ③ 議会での質問及び答弁について

閉 会

第 5 6 回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会 会議録				
開催日時	平成 2 8 年 8 月 3 日（水） 1 8 時 0 0 分から 2 0 時 0 0 分まで			
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 3 階保健所大会議室			
出席者	委 員	今井範子 委員、梅林聡介 委員、倉本みゆき 委員、 田中啓義 委員、東久保耕也 委員、古海忍 委員、 三浦教次 委員、元島満義 委員、森住明弘 委員、 安田美紗子 委員、山口裕司 委員、吉岡正志 委員、 吉田隆一 委員、渡邊信久 委員 【計 14 人 全員出席】		
	事務局	仲川市長、向井副市長、南環境部長、新井環境部次長、 辰己環境部参事、久保田環境部参事、仲西廃棄物対策課長、 林環境清美工場長、松田課長、中嶋主幹、今田課長補佐、 大石主任		
	コンサル タント	パシフィックコンサルタンツ株式会社（枝澤、吉井、山崎）		
開催形態	公開（傍聴人 6 人）	担 当 課	環境部 クリーンセンター建設準備課	
議 題 又は 案 件	1 委員長及び副委員長の選任 2 市長あいさつ 3 クリーンセンター建設計画の取り組みと現況について			
決定又は 取り纏め 事項	1 委員長に渡邊委員、副委員長に安田委員と田中委員を選任した。 2 事業が進捗するようあらゆる可能性を調査・検討し、できるだけ 早い時期に策定委員会を開催する。 3 公害調停成立の経緯をもう一度振り返る機会を設ける。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1 委員長及び副委員長の選任				
・委員の互選により、委員長に渡邊信久委員が選任された。また、副委員長に田 中啓義委員と安田美紗子委員が選任された。				
2 市長あいさつ				
・委員の皆様には、これからの議論に対してご協力をお願い申し上げます。 ・クリーンセンター建設を取り巻く様々な動きが活発化している状況である。 ・市民の悲願である移転建設実現に向けて引き続きご協力をお願いします。				

3 クリーンセンター建設計画取り組みと現況について

➤ 事務局より説明

- ・ 6月26日（日）に実施した、左京地区での環境清美工場の排ガス等環境測定データ公開の場で、周辺住民の皆様から、老朽化が進んでいることに対して、環境基準は満たしているが最新施設との比較で数値が高いこと、移転までの間の安全操業と維持管理の予算確保について、移転が進まない理由などのご質問ご意見が寄せられた。
- ・ 7月28日（木）と31日（日）に東部地区住民に直接意見を聞く機会として興東小学校にて意見交換会を開催したが、参加者が予想以上に少なく反対の立場表明であると感じている。参加された皆様からは、地元としては建設計画に反対であるとの意見を中心に、より具体的な建設計画の提示、農業や地域産業の専門家を交えた検討、風評被害への対応、道路計画の実現性、市民全体への周知や問題提起についての意見が出された。
- ・ 「浄瑠璃寺と当尾の里を守る会」及び「鼓阪地区自治連合会」から提出されている建設反対や計画見直しを求める署名の主旨を説明
- ・ 議会での議事経過として、現在3つの請願が提出されており、常任委員会である市民環境委員会で審議を行っている。

➤ 委員からのご意見等

森 住 委 員

- ・ 31日の意見交換会に参加した。問題提起をされた方と一緒にって問題を解決していくという姿勢で臨めば、事業が進むのではないかと感じた。
- ・ 共通認識とするため、次回ぐらいに公害調停成立の経緯について学習する機会を設けてはどうか。それと、この委員会に市議会議員が参画していることについて説明する必要があると思う。

倉 本 委 員

- ・ 31日の意見交換会に参加した。肝心の建設候補地周辺住民が来っていないので、今回出た意見が地元の本当の意見なのか疑問である。
- ・ 市民がごみ焼却場移転問題について関心がない。市民がもっと関心を持てばいろいろな意見が出てくると思う。

元 島 委 員

- ・ 住民に話が伝わっていないのが不満であるように思う。個別訪問して地道に市の考えを説明していかないとこのまま終わってしまうのではないかと。そうなった場合は、他市と共同でごみ処理を実施する等の検討を行うなど奈良市民全体の問題として考える必要があると思う。
- ・ 場合によっては、メディア等を通じて現状を訴えていく必要があるのではないかと。別の方法で進められるやり方も考えていき、前に進めていくように協力したいと思う。

安田副委員長

- ・ 28日の意見交換会に参加した。奈良市全体がごみ焼却に関して身近な問題として考える必要があると感じた。奈良市のごみ焼却場はもうもたないということをしっかり訴えていく。また、近隣他都市にごみ処理をお願いすることも考えていかなければ事業が進んでいかないと考える。

吉 田 委 員

- ・ 他市のデータとの比較、定期補修の期間が延ばされていることから最近左京地区住民の間では老朽化をかなり心配している。工場が突然操業停止になると、ごみ処理が止まってしまうので、早く解決

古 海 委 員	していくべきである。公害調停で定める期限からかなり遅れているが、適切に対応していただくことを強くお願いする。 ・ 31日の意見交換会に参加した。様々な問題をトータルで考え、東部地域に興味を持ってもらうことと合わせてのクリーンセンター建設であると感じた。
吉 岡 委 員	・ 市が一度決めた以上はやり切らなければならない。あきらめると他の場所での建設はできないと思う。反対意見があれば対応していくという姿勢で進めることが近道である。もし現計画を断念するのであれば、他の市町村と一緒に建設することも考えていかなければならない。
田中副委員長	・ 公害調停の意義を分からずに反対するのはもってのほか。議員自身が説明責任を果たすべきである。 ・ 現候補地で移転するための対話を尽くすとともに、他都市での処理をお願いするのか、共同で実施するのかはともかく現工場の操業停止のための早急な手段を別途考えていく。今の工場が操業停止になれば、市民全体で考えなければならない状態になり、痛みを分かち合う形になると思う。
梅 林 委 員	・ 現工場の操業停止は公害調停で決まったことなので、策定委員会で現候補地に決めたこと以上に守らなければならないものである。 ・ 公害調停は議員も全会一致で賛成したのだから今の議員も含めて守るべきである。当時は東部の方もそんなに反対ではなかったと思う。市と地元自治連合会との間でボタンの掛け違いがあったのではないか。これだけ行き詰っているのであれば、現地建て替えも視野に入れつつ、広域でのごみ処理の方法も含めて議論した方がよい。 ・ 全員が毎日ごみを出している。そのごみをどこで処理するのかという議論であるので、何とかしていくという姿勢で議論すれば解決すると思う。
三 浦 委 員	・ ほとんどの議員がどういう経緯で公害調停が成立したのかを理解していないため、議会で質問をしても他人事であり、自分のところに話が来なければよいと思っている。一方で左京地区でも移転に対する住民の意識がだいぶ変わってきている。今まで数十年にわたって現在の場所にあるということを意識してほしいし、公害調停を遵守してほしい。 ・ 事業が進捗しないのであれば、場所の再選定、広域化、どこかにごみ処理を委託する等、他の事業手法を並行しながら調査研究すればよいと思う。
山 口 委 員	・ 請願が3つ提出されており、それぞれ慎重に議論を重ねている状況を見ると、様々な角度で議論が活発に行われていると認識している。ごみ処理のあり方について考える大事な時期に来ているという印象を持っている。それから、公害調停成立の経緯についてもう一度振り返ることが重要である。
渡 邊 委 員 長	・ 期待していた以上のご意見をいただいている。委員より域外処理やごみ処理の広域化という話が出されているが、現在の施設の老朽化の状態を考えると、まずは現施設の操業停止を考える。そうした場合、緊急的な対応を考えなければならないと思うが、その辺りのこ

渡邊委員長 田中副委員長 森住委員	とについて、市の方で何らかの調査をしていることがあったら報告してほしい。 ⇒（市長）現候補地周辺住民への説明を続けていくことを大前提としながら様々な可能性も考えるべきであるとのご意見をいただいたと受け止めている。最大限努力して一日でも早く現施設の操業停止を実現できるよう委員の皆様からのご意見やご議論を賜りたいと思う。 ⇒（事務局）天理市外9市町村が進めている広域処理について説明 意見交換会の参加状況について説明 一日でも早く新施設を稼働できるようあらゆる可能性を検討し、できるだけ早い時期に策定委員会を開催し、委員の皆様に諮りたいと考えている。 ・意見交換会に参加された方は、建設反対を言いに来たというよりは、自分たちの地域のことをどのように考えているのかということを感じた。 ・広域化を進めることによって候補地選びで難航しないのかという点と、緊急避難的に早くから他市のごみ処理をお願いすることへの可能性について教えてほしい。 ⇒（事務局）天理市の例は、先行事例であり、広域化をした場合、財政的な補助があること、ある程度の規模の焼却炉を建設することによるエネルギー回収の効率化が可能になるという話である。 これを実施するには近隣他市との協議が必要であり、協議が整ってからの話になるので、今の時点で期限を決めることはできないと思う。 ⇒（市長）すでに枠組みが決まっているものである。候補地選定段階ではなかった制度であるため説明申し上げた。広域化を実施する場合、パートナーを探すことが前提になるので、まずは、近隣市町村で広域化の意向を丁寧に調査することをしていきたいと思っている。 ・交渉の目途が着くまで今の担当者を代えないようにしてほしい。 ⇒（市長）定年退職での交代以外は継続性が大事であるので配慮したい。
資 料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 議会の議事経過 ・ 平成28年度左京地区データ公開質疑応答 ・ クリーンセンター建設に関する意見交換会の概要 ・ クリーンセンター施設基本計画の概要（案） （意見交換会当日の配布資料） ・ クリーンセンター（熱回収施設）パンフレット ・ アンケート用紙